

船橋市議会議員

千葉民主連合所属

みっはし

三橋さぶろう

議会活動報告

行財政改革推進プラン



船橋市は少子・超高齢社会の到来、社会保障費の増大、働き手の減少による税収減、公共施設の老朽化による維持・更新のための多額な費用などで船橋市の財政は今後とても厳しいものになるとの予想から、2019年3月に「行財政改革推進プラン」を発表し、2019年度と2020年度の2か年を「集中取組期間」として行政の効率化と財政健全化に向けた取り組みメニューを集中的に実施するとしています。

この行財政改革推進プランは、説明によると①業務改善による事務執行の効率化 ②民間活力の積極的活用 ③事業精査と見直し ④普通建設事業の精査・見直しと公共施設マネジメント ⑤受益者負担の見直し ⑥安定的な財政運営のための歳入確保の6つに分類し取り組むとなっています。市は行財政改革推進プランを色々と進めていますが、6つの柱のうち ⑤受益者負担の見直し ③事業の精査と見直し ④普通建設事業の精査・見直しと公共施設マネジメントの三つの取り組みについては積極的に取り組んでいます。特に「受益者負担の見直し」について令和元年第3回定例会市議会では、下水道料金、市営霊園・霊堂、公民館、（裏面に続く）

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(41歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目当選 建設委員会
- 特技: クロスカントリースキー
- 1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
- 2002年ソルレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班 所属
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻、息子(7歳)、娘(1歳)
- 趣味: 子どもと散歩
- 船橋市習志野台 在住

(表面から)

文化ホール、きららホール、勤労市民センター、市民ギャラリー、総合体育館、運動公園、法典公園、若松公園、武道センター、茶華道センター、行田運動広場、高瀬下水処理場上部運動広場の使用料の殆どを値上げする条例が提案され、賛成多数で可決されており「受益者負担の見直し」は着実に進められています(三橋は下水道料金の改定条例以外は反対しました)。

一方で行財政改革推進プランの6つの柱の内 ①業務改善による事務執行の効率化 ②民間活力の積極的活用 そして⑥安定的な財政運営のための歳入確保 の3つの取り組みは、あまり具体的なものが見えてきません。市民感覚からすれば行財政改革を行うのであれば、まず行政の無駄なものを無くし、次に業務や事業の効率を良くして支出を抑えてから、市民の方に協力を求め、我慢して頂いたり負担をお願いするのが順序だと思います。しかし残念ながら順序が乱れているように私は感じます。

全国の自治体では行財政改革を行って行く中で、市民に負担を求めるだけでなく、行政が保有している財産等を活用して新たな収入を得ることに挑戦している自治体もあります。例えば愛知県豊川市や埼玉県所沢市では下水道経営において自立した財政運営をしていくために、マンホールの蓋に企業広告を掲載して新たな収入を生み出しています。マンホール 1 か所、月額 4,000~7,500 円の広告料で収入としてはそれ程多くはありませんが、こうした努力は市民の方からも評価されると共に、下水道事業の理解普及、報道機関等から注目されてシティプロモーションにもつながっています。船橋市でもこのような行政財産を活用して、新たな収入を増やす努力を最大限行ってから、市民の皆様にご負担をお願いするという順序の行財政改革になるように市議会議員として取り組んでまいります。

「三橋さぶろう市議会報告」ポスティング・ボランティア募集

ご自宅周辺等に、三橋さぶろう市議会報告をポスティングして下さる方を募集中。ご協力いただける方のご連絡をお待ちしています。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩4分)

電話：047-402-2810

FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。